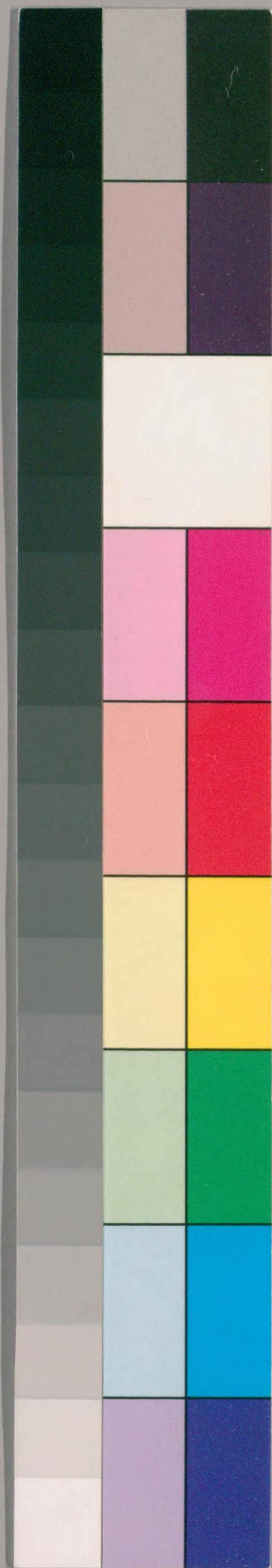


858
103

新山家

其角



国立国会図書館 タイトル『新山家』 請求記号 858-103

ガラス使用

858-103



昔の病くちりし本から山々温
 泉も念想もあつた事う志
 まるくかたけにあらん
 月一光のこもる野を歩
 けり春より花はつらぬあ
 りぬあつた晴あつたけつら
 ち奴ら十とつらつらあ
 ひらつたあつたあつたあ



る事おのりかていさすく
のいさすく文鱗のいさ
喜のいさすくいさすく
かねいさすくいさすく
泉のいさすくいさすく
いさすく

箱のいさすくいさすく文鱗

いさすくいさすくいさすく
紙懐同

いさすくいさすくいさすく

いさすく

岩根より鱗あり走鮎其角

いさすくいさすくいさすく
水のいさすくいさすく
いさすく

傍より薬師堂あり朝々暮々

に此傍成訪く岸山舳かぬ

突をいさすくいさすくの十如院

ていさすくいさすくいさすく

ふるまへく古人のまのむに 祇長基禿
の^{世に大あり}むら^三い^吟の^三
人か^いあ^いの^い強^いの^いあ^いす^いて
も^いま^いれ^いら^いん^いあ^いら^いく

其一

あ^いも^い早^い苗^いの^いり^いり^い寺^いの^い門^い 其角
—の^いぶ^いあ^いら^いの^い鳥^い尾^いの^い下^い簷^い 文鱗
宗長の^いあ^いら^いの^い月^いの^い明^いで 枳風

其二

涼^いの^い涼^いを^いあ^いら^いの^い早^いを^いあ^いら^い 枳風
水^いの^いの^いあ^いら^いの^いあ^いら^い 其角
栄^いの^いあ^いら^いの^いあ^いら^い 文鱗

其三

菅^いの^いあ^いら^いの^いあ^いら^い 文鱗
驛^いの^いあ^いら^いの^いあ^いら^い 枳風
桜^いの^いあ^いら^いの^いあ^いら^い 其角



菴三 飯連をもちぬた山は 文鱗

物位く養ひぬなる 樗哉 枳風

くしんく風をのちまきし

くしんく奥きくくさくちりまわり

よ客ありけいすをもちたす

くしんく海をくちりして 鯨角 其角

照射みく念仏のちり鏡なり 枳風

日清集 秋の田に書きたる 鹿をいひて

あつきのちりけいすも 鎌倉のちり

たまゆすのちりまきく 鹿をいひて

くしんくあつきのちりけいすも

あつきのちりまきく 鹿をいひて

くしんくあつきのちり

あつきのちりまきく 鹿をいひて

あつきのちりまきく 鹿をいひて

あつきのちり



ふらふらもきりし酒行さら

店ちのあまそなひのし

浴^ヨりまつてちのあまそなひのし

とく箱金とくしとく招風のた

日暮のしとく岸の湯たあり

とく東の岸の湯たあり

のたに消ゆる所思

とく墨染に浦の鯉もる文鱗

とく 微雨の山屋坐頭一曲字人 其角

とく 子鹿觸れを通りはるる海

とく かつら

とく 篠子ごと慰むるもあまの 其角

新長谷寺にゆて

とく 吉帆片帆 幸の嵐に流るり 文鱗

とく 海もあまのしとく酒のあまのし

とく ちのあまのしとくちのあまのし



みまもつてのうらみはなほあはれなる

しりし甲斐の長羽はなほあはれなる

あはれなるはなほあはれなる

あはれなるはなほあはれなる

あはれなるはなほあはれなる

あはれなるはなほあはれなる

あはれなるはなほあはれなる

あはれなるはなほあはれなる

あはれなるはなほあはれなる

あはれなるはなほあはれなる

あはれなるはなほあはれなる

あはれなるはなほあはれなる

あはれなるはなほあはれなる

あはれなるはなほあはれなる

あはれなるはなほあはれなる

あはれなるはなほあはれなる



阿彌陀佛 且能清よる我のあま
侍も平らうのよき事て敬ら
舞へたふらうのあま
まよひ事一を身大に成しん
と京子也 多人病むるに
も 夏も辛し 月も
しづかき事 業屋の音
の事一は清かたふり
母の勝も入れり 葬事
母 眼よる事 事
ら 一 湯に
と 思集み 粟よ 呼と
と 候
ら
其角上
三日月を命あや
花洛よ 濱川 自悦とらふあり 東



よはらひのうらみ

のしほりて富峯の奇

秀もさしはらひのあはれ

は黄金なるはくはれ

のうらみは

はらひのうらみ

一

のうらみ

能化堂まゝに保たれ其角

のうらみ 文鱗

狂雷堂 晋其角述

虚無齋 鳥文鱗技

丁亥郎 川蚊足筆

附尾

李下

馬を駒千代う留もよむるは

舟積して野渡も物も残らん 文鱗

毎朝青月夜も丸は流る 蚊足

月やゆるつたはふ靴もたぎしく 鱗

雛持ッ娘かりゆふ 下

角のなる揚屋に志をうせしや

かみこもあまよふ女のあまうへ

大將を古事も月一目の命 下

芦うけぬく埋し肩衝 鱗

津島や和泉の洞と浅路島 角

踏をこけしつたはる夫も寝る 足

とる金身もそと代の曾我の氣は味

目もつたかたもあつたあり 下

月もあつく秋も晴の初と先なる
一やうくあつた宮司軒を絶
よのつり端終の乞食とる飽ん
身延やうと母の初うい
舞一やうま川はさる初うい
雨の林もろ樹杞おにゆく
川やあつとまの和島れ土車
うらまらるる今の山城へく系
下 鱗 足 角 鱗 下 角 足

鍛冶の楳片肌めとる鳥標の
あつりつと先も今と勢の章
あつちよあつちの痛おにとるすは
うらつとあつちの標もひらふたも
席のあつちとる酒屋にすは
うらのあつちとるあつちとる
男のあつちとるあつちとる
あつちとるあつちとる
下 鱗 足 角 鱗 下 角 足

858
103

芭蕉翁門他書目録	其角輯 二冊	丙寅記 凡瀑集 一冊
みろく里	其角輯 二冊	新の家 其角輯 一冊
續みろく里	日輯 二冊	續花法見 湖十輯 二冊
花法見	日輯 二冊	
楚衣袋	嵐雪輯 二冊	
蛙あし巻	芭蕉其角 素堂仙化輯 一冊	
新二百款	其角輯 一冊	
波新摺	涼尾輯 二冊	
拙諧小傘	初心仕候 調宝殿々象集記 一冊	

2924

宗祇宗長柳さくさくらぬ 足
 観たるへ厚にふる鶴のこも也 下
 涼あしふもや氷のとも 角
 太麻のお守のやれさふ 鱗
 くれ虚瓢 キヨヒシ たのちすま みまうけ て

書林 京堀川通錦小路上町
西村市郎右衛門藏版

新山家

臨定... 其角... 一冊

新山家

東京... 二冊

新山家

其角... 一冊

新山家

其角... 一冊

新山家

其角... 二冊

新山家

其角... 二冊

新山家

其角... 二冊

新山家

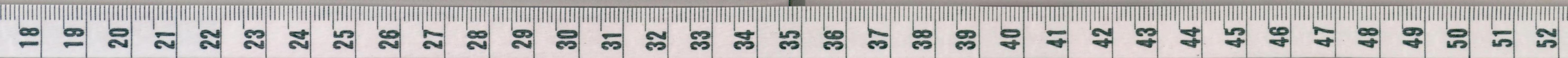
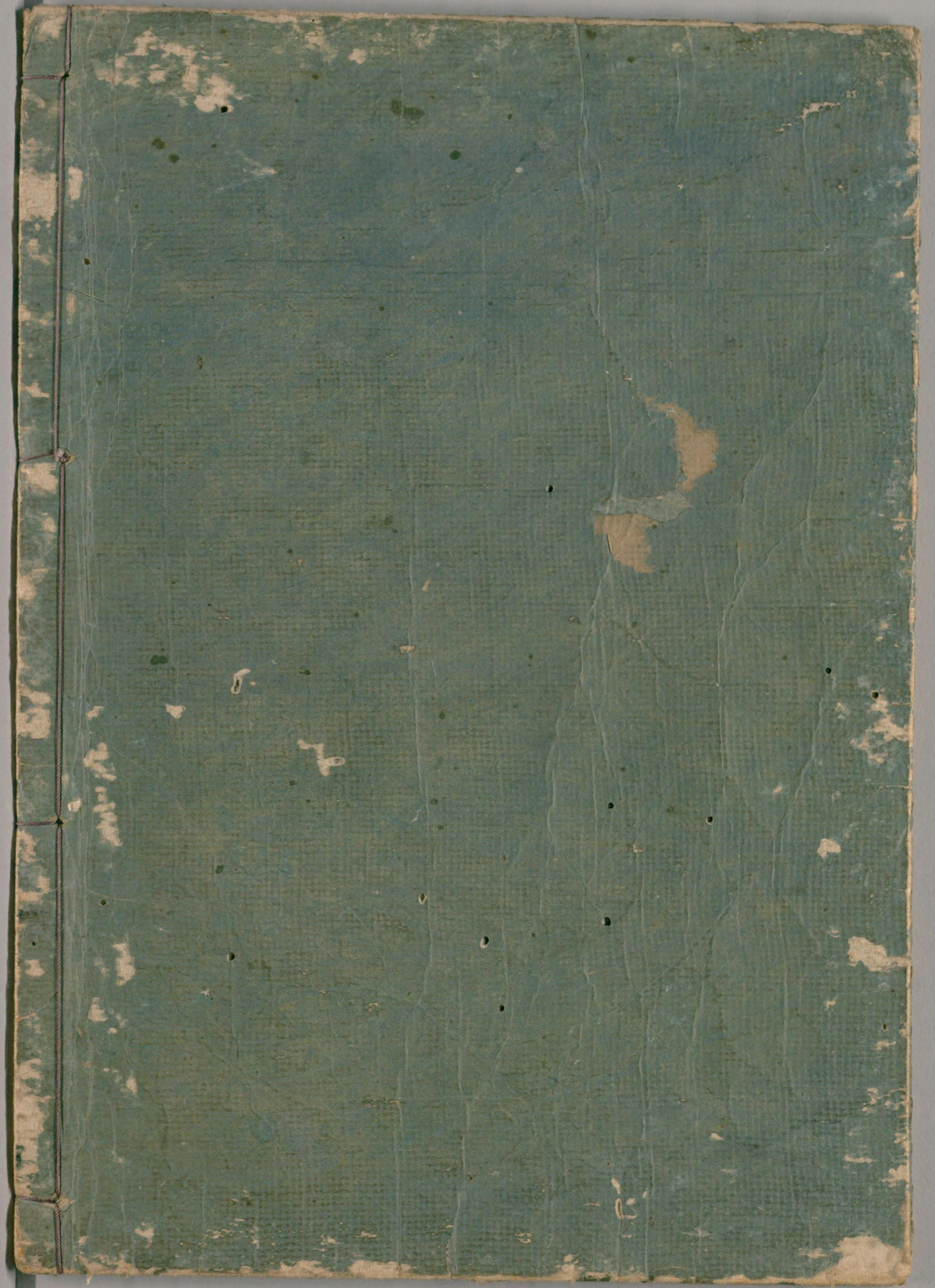
其角... 二冊

新山家

其角... 二冊

新山家

新山家



国立国会図書館 タイトル『新山家』 請求記号 858-103

ガラス使用